施 策 評 価 シ ー ト

1 総合計画上の位置づけ

担当課： 企画広報課

施策名	41 行財政改革・行政評価
政策名	持続可能な行財政運営を行う
施策がめざす将来の姿	・限られたざいげんと人材を有効活用する改革や、中長期的な視点でチャレンジする改革などが進められています。 ・行政評価の結果を活用し、事務改善や企画立案に反映させることで、事業効果が高まっています。

③ 施策評価指標

成果指標名	単位	後期当初値	令和９年度目標
	0	0.00	0
0	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	0.00	0.00			

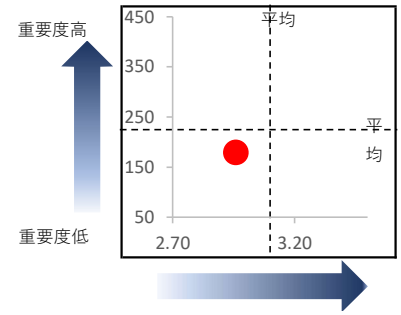
3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（人）
令和7年度
179

満足度（満足している市民の割合）／単位（%）		
令和6年度		**令和7年度**
87.9	→	85.7

※増減（→）の基準は３ポイント以上とする

R7重要度・満足度（他の施策と比較した位置）



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

人口減少に伴って財源や職員数が減少することが予測されており、この状況に対応するため事業の効率化を図る必要があると認識しています。しかしながら、現在行財政改革の一環として実施している行政評価は、その評価結果が事業のスクラップに繋がっていないという課題があります。

また、例えば、各施策等において個別計画を策定し、中には審議会も設置されているなど、総合計画で策定する基本計画と重複して管理や審議をしているなど、個別には必要な事業や業務も全庁的にみれば見直しが必要なものもありますが現状どちらも廃止することはできておりません。

引き続き、行財政改革の手法について検討し、将来に向けて事業の効率化を図ります。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに〇、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業①：企画調整事業

R7決算額（千円）	重点化(縮小)する細事業（主なもの２事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
6,368	ショートタイムワーク事業	**廃止**	**完了**	時短・柔軟な働き方は民間サービスにおいても広がってきており、市においても（会計年度任用）職員の雇用などにおいて実施している状況であることから事業を廃止します	▲